

# VMware vRealize Suite

## クラウド管理プラットフォーム

### 概要

VMware vRealize® Suite は、エンタープライズ対応のクラウド管理プラットフォームです。IT 部門やサービス プロバイダーは、開発者が任意のプライベート クラウド、パブリック クラウド、またはハイブリッドクラウドに、仮想マシンやコンテナベースのアプリケーションを迅速かつ簡単に構築できる環境を提供できます。また、VMware vSphere® およびその他のハイパーバイザー、物理インフラストラクチャ、コンテナ、OpenStack と、VMware Cloud™ on AWS、Microsoft Azure、Google Cloud Platform などの外部クラウド上で実行する IT サービスを対象とした包括的な管理機能による統合管理が可能です。

### 主なメリット

- **俊敏性**：IT サービスの迅速な提供により、IT 部門が開発者のニーズに完全に対応可能
- **管理性**：IT 部門のニーズに最適な管理性を提供し、俊敏性、リスク、コストなど、さまざまな目標にわたり最適なバランスを実現
- **効率性**：IT 部門の効率性とプライベートクラウドおよびパブリッククラウドのリソースの使用率を高め、設備投資コストと運用コストの両方を低減
- **選択肢**：開発者は、API、CLI、カタログを通じてリソースを利用できるほか、開発者向けツールを自由に選択可能

### vRealize Suite に含まれるコンポーネント

VMware vRealize Suite は、優れた実績を持つエンタープライズ対応のハイブリッドクラウド管理プラットフォームを実現します。VMware vRealize Suite に含まれる主なコンポーネントは次のとおりです。

- **vRealize Automation™**：パーソナライズされたインフラストラクチャ、アプリケーション、カスタム IT サービスの提供を自動化
- **vRealize Operations™**：インテント ベースの継続的なパフォーマンスの最適化、効率的なキャパシティ管理、プロアクティブなプランニング、インテリジェントな修正
- **vRealize Log Insight™**：ログ管理とログ分析をリアルタイムで実行
- **vRealize Business™ for Cloud**：仮想インフラストラクチャを対象としたコストの算出、使用量の測定、サービスの価格設定を自動化
- **vRealize Suite Lifecycle Manager™**：vRealize のインストール、設定、アップグレード、健全性、コンテンツ管理を自動化

### アプリケーション視点でのマルチクラウド管理

vRealize Suite クラウド管理プラットフォーム (CMP) により、マルチクラウド環境全体にアプリケーションを提供できる動的で一貫したデジタル基盤が実現し、ビジネス イノベーションを推進することができます。

**プライベート クラウドの最新化 (SDDC)**：vRealize Suite により、プライベート クラウドをパブリック クラウドのように容易に運用および利用でき、ライフサイクル管理と運用の自動化により、高可用性と SLA を確保し、エラーを最小限に抑え、サービス提供のコストを低く保つことが可能です。

**開発者にとって使いやすいインフラストラクチャ**：サービス リクエスト用の複数のサンドボックス モデルから開発者がツールを自由に選択できるなど、IT 部門やサービス プロバイダーは開発者の生産性を向上させる選択肢を提供できます。

**共通のアプローチで管理されるハイブリッド クラウドおよびマルチクラウド**：vRealize Suite により、IT 部門やサービス プロバイダーは、適切なガバナンスを維持しながら、任意のプライベート クラウド、パブリック クラウド、ハイブリッド クラウドに、仮想マシンやコンテナベースのアプリケーションを簡単かつセキュアに構築できる環境を開発者に提供できます。

**強力な組み合わせ**：VMware NSX® などの VMware SDDC ソリューションとネイティブに連携するため、自動プロビジョニングのアプリケーション ブループリントを通じて事前にセキュリティ ポリシーを確立でき、アプリケーションのインスタンス化から運用終了までライフサイクル全体でセキュリティを確保できます。

## 詳細情報

VMware 製品をご購入または詳細情報については製品 Web サイトをご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/products>

製品の仕様およびシステム要件の詳細については、製品のオンライン ドキュメントを参照してください。

## vRealize Suite のメリット

VMware vRealize Suite は、マルチベンダー ハイブリッド クラウド環境の構築と管理のための、業界でもっとも包括的なソリューションです。vRealize Suite は、次のような運用管理のユースケースに適しています。

- **アプリケーション運用**：開発者が、高度に分散化されたマイクロサービスベースのクラウドアプリケーションのリリース、トラブルシューティング、パフォーマンス最適化を迅速かつリアルタイムで実施
- **プログラミング可能なプロビジョニング**：開発者や IT 部門が、API、カタログ、CLI を通じて、任意のクラウドのインフラストラクチャやアプリケーションのリソースに容易にアクセスし、ライフサイクル全体を管理
- **運用の自動化**：IT 部門が、運用やビジネス上の目的に応じて、キャパシティとパフォーマンスを継続的に最適化

また、これらのユースケースで vRealize Suite を利用することで、インフラストラクチャのオプションのコストやエンド ユーザーによるリソースの使用量を把握できるため、設備投資を最大限に活用することができます。

## vRealize Suite のエディション

VMware vRealize Suite には、3 つのエディションが用意されています。各エディションは、それぞれ異なるユースケースを対象としています。

- **Enterprise Edition**：アプリケーション運用の基盤を築き、従来のアプリケーションとコンテナベースのアプリケーションの両方のクラウド間での継続的な提供を自動化できます。
- **Advanced Edition**：プログラミング可能なプロビジョニング機能により、Infrastructure as Code、開発者向けサービス、サードパーティの開発者向けツールの連携が可能です。
- **Standard Edition**：統合プラットフォームにより、本番環境の運用を自動化でき、継続的なパフォーマンス最適化、効率的なキャパシティ管理、プロアクティブなプランニング、インテリジェントな修正が可能です。

## マルチベンダー ハイブリッド クラウド向け Portable License

vRealize Suite 向けの VMware Portable License Unit (PLU) では、vSphere のオンプレミス環境、サードパーティ製ハイパーバイザー、物理サーバ、サポート対象のパブリッククラウドなど、使用している環境を問わずに、vRealize Suite を使用してワークロードを柔軟に管理できます。

ライセンスの切り替えや変換は必要なく、vRealize Suite のすべてのエディションでデフォルトの機能として提供されています。

VMware の Portable License については、vRealize Suite のライセンス (<https://www.vmware.com/jp/products/vrealize-suite>) を参照してください。

## サポート

VMware は、すべてのお客様に対し、サポートおよびサブスクリプション (SnS) サービスをグローバルに提供しています。さらにご希望のお客様には、導入を開始するうえでのベストプラクティスを提供する、コンサルティング サービスも用意しています。

<http://www.vmware.com/jp/services>

